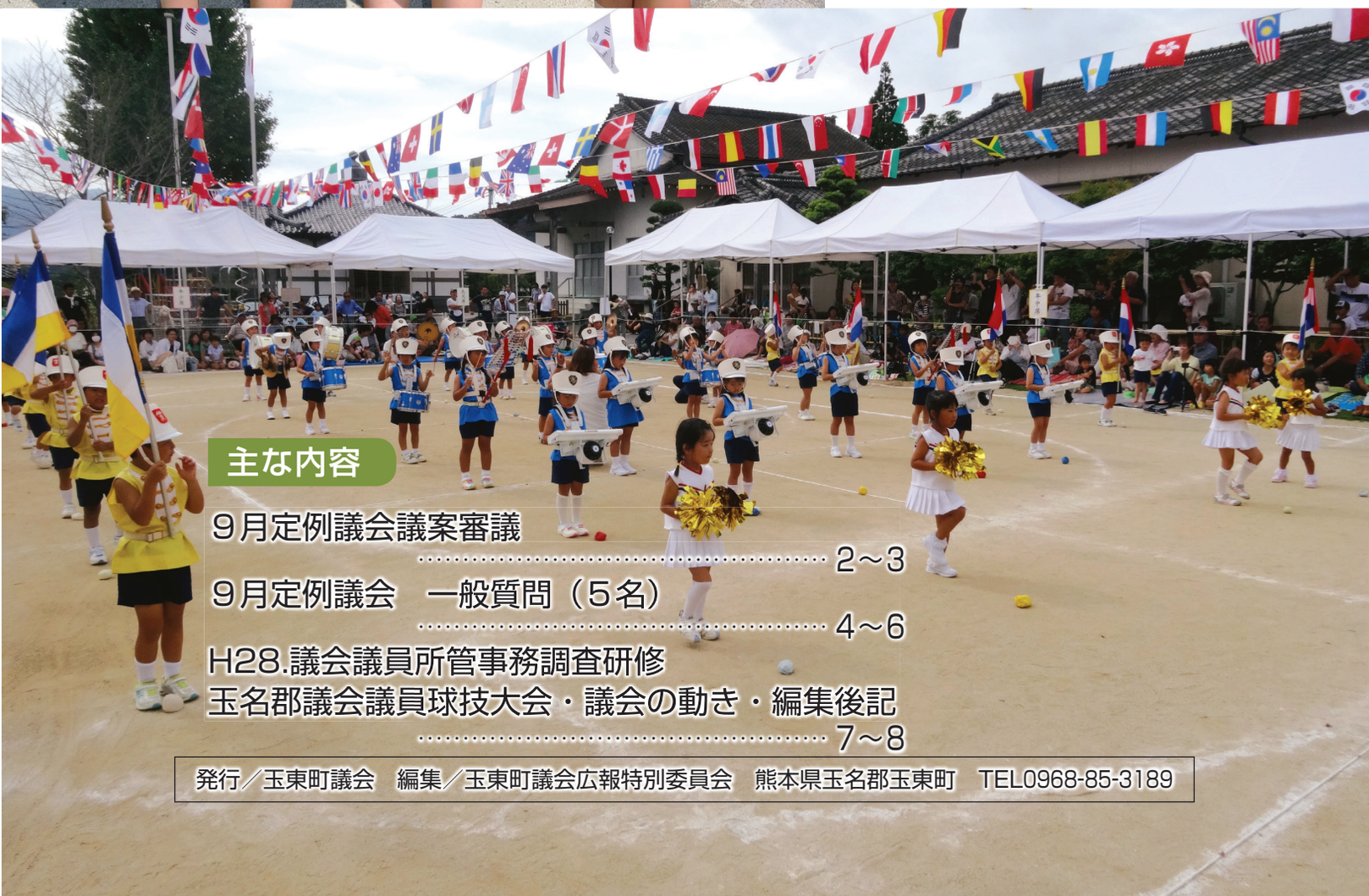
玉東町

議会だより

2016(平成28年)
10月31日発行
第38号



主な内容

９月定例議会議案審議 …… 2～3
９月定例議会　一般質問（５名） …… 4～6
H28.議会議員所管事務調査研修
玉名郡議会議員球技大会・議会の動き・編集後記 …… 7～8

発行／玉東町議会　編集／玉東町議会広報特別委員会　熊本県玉名郡玉東町　TEL0968-85-3189

玉東町議会定例会

そして慎重な審議が行われた

平成二十七年度玉東町会計歳入歳出決算を原案どおり認定した。
平成二十八年度補正予算4件、玉東町教育委員会委員の選任同意
条例の一部を改正する条例1件・有明広域行政事務組合規約の一部変更
その他を審議、可決した。

（主な質疑）

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

問　吉住議員
職員の不妊治療及びその介護休暇を無給にするとあるが、職員は有給休暇を相当持っていると思いますが、それを使えないのか。

答　総務課長
有給休暇が職員には20日ありますので、それを使い、それで足らない時は不妊治療休暇を使うことになります。介護休暇についても同様です。

原案可決

有明広域行政事務組合規約の一部変更

問　狩野議員
有明広域行政事務所が旧岱明庁舎跡地に移転する要因とは？

答　町長
今、借りている農業共済組合の一部が雨漏りし、修理費にかなりの費用がかかる。旧庁舎3階部分が空き、また議場も使える。
　農業共済組合から、借地料を少し上げさせてくれと、そういうことで移転する、そういう理由です。

原案可決

平成二十八年度玉東町一般会計補正予算（第4号）

問　坂村議員
教育費の中の共同調理場の運営費の燃料費、今までの3校での経費との対比は。

答　教育委員会事務局長
今回、燃料費を90万9千円計上、前々年度、26年度燃料費が3校で130万程度あったので、これより少なくかかるだろうと、0・65ぐらいを掛けて、85万円を当初予算で計上していた。

問　大城戸議員
道路維持費除草業務で、久保田橋からふれあいの丘、オレンジタウンからふれあいの丘までについて伺う。

答　建設課長
オレンジタウンの中に職員がいてボランティアで、できないところはこちらのほうで管理を。久保田橋から温泉は年間を通して、状況を見ながら切っていきたいと思います。

問　坂本議員
総務費の報償費と委託料を詳しく。

答　総務課長
町政施行50周年記念式典関係補正予算です。震災の関係で8月に会議が延びました。報償費は自治功労者表彰50名と御来場者の記念品代、講師・司会者への謝礼・感謝状筆耕料です。委託料は、DVD記念映像作製と会場設営委託料です。

原案可決

平成二十八年度玉東町介護保険特別会計補正予算（第1号）

問　大城戸議員
負担金、特例施設介護で熊本地震分、これは地震で福祉避難所で対応された分か。

答　保健介護課長
福祉避難所のほうではなく、特別養護老人ホーム等に入所されている方で、自宅のほうが地震によって倒壊して、半壊以上の方が利用料の免除額の返還分でございます。

原案可決

平成28年第3回

9月12日から16日の5日間活発な

玉東町教育委員会委員の選任同意

問 坂本議員
提案理由の中で教育委員補充のためとあるが定員何名なのか伺う。

答 町長
定員は4名で現在4名で任期満了に代わる補充として提案いたすところです。

選任同意

平成28年第3回議会定例会（議事日程）

月　日	区　分	日　程			備　考
9月12日㈪	本会議	日程第1	会議録署名議員の指名について		8番　吉住貞夫、 9番　上村義光
		日程第2	会期の決定について		
		町長の提案理由の説明、議案上程			
		日程第3	一般質問（5名）		6番　林　和廣、 3番　狩野勝次、 7番　清田高広、 4番　坂村勇治、 5番　坂本和也
9月13日㈫	本会議	日程第1	議案第45号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町一般会計歳入歳出決算認定について
		日程第2	議案第46号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第3	議案第47号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第4	議案第48号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町木葉財産区特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第5	議案第49号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第6	議案第50号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第7	議案第51号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町宅地開発特別会計歳入歳出決算認定について
		日程第8	議案第52号	（提案理由の説明）	平成27年度玉東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
				決算審査報告	
		日程第1～8	議案第45号～52号	（質疑、討論、採決）	決算認定について
9月14日㈬	本会議	日程第1	議案第53号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		日程第2	議案第54号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	有明広域行政事務組合規約の一部変更について
		日程第3	休会の件		
		日程第4	報告第2号	（報告）	平成28年度議会議員所管事務調査研修報告について
		日程第5	議案第55号	（提案理由の説明）	平成28年度玉東町一般会計補正予算（第4号）
9月15日㈭	休会	議案調査、審議のため			
9月16日㈮	本会議	日程第1	議案第55号	（質疑、討論、採決）	平成28年度玉東町一般会計補正予算（第4号）
		日程第2	議案第56号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	平成28年度玉東町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
		日程第3	議案第57号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	平成28年度玉東町介護保険特別会計補正予算（第1号）
		日程第4	議案第58号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	平成28年度玉東町宅地開発特別会計補正予算（第2号）
		日程第5	議案第59号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	玉東町教育委員会委員の選任同意について
		日程第6	議案第60号	（提案理由の説明、質疑、討論、採決）	玉東町教育委員会委員の選任同意について
		日程第7	請願（陳情）の件		陳情1件（町外1件、町内0件）、請願0件
		日程第8	議会運営委員長提出		閉会中の継続調査申出書
			総務・経済・建設常任委員長提出		〃
			厚生・文教・税務常任委員長提出		〃
				教育長国際交流報告	

町政に緊張と議会の活性化を

議員５人が一般質問に登壇

質問者	質問事項
林　和廣	• 地区の自主防災組織・地域おこし協力隊の受け入れについて
狩野勝次	• 地域防災対策の取り組みは？
清田高広	• 今後どのような、自主性・主体性を持った地域づくり、人材育成に取り組みは？
坂村勇治	• 特殊出生率について・県道の拡張について
坂本和也	• 前田町政４期目の総括と今後について・若者の政治意識について

一般質問　（本人の原稿を基本にしています。）

林　和廣議員

地区の自主防災組織

問　自分の地域は自分達の手で守るための、地区の自主防災組織づくりが必要。現場出動は難しいとしても後方支援や隣近所の避難確認や誘導など、地域に十分寄与できるが？

答　総務課長　平成15年に各行政地区で立ち上げられている。発足当初は訓練等を実施されたが、10年を経過して今は活動も低迷してきている。先般熊本地震が発生し改めて共助の重要性を再認識されたと思う。

身近な自主防災組織が、積極的に地域住民への研修や訓練等で強化が図られ、自助・共助・公助との三要素がうまく機能的につながることが被害の軽減につながる。消火活動、避難誘導など正しい行動がとれるリーダーの存在が不可欠で、地域から選出いただいた方たちを対象に、研修及び訓練等を今後町では開催をしていきたい。

地域おこし協力隊の受け入れについて

問　昨年度全国で２６３０００２５名今年度中に３０００名に拡充すると国は言っている。熊本県も40名程受け入れ。最高３年任期で年４００万円の助成金の総務省の人材派遣制度をどう考える？

答　総務課長　地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等に農林漁業など第一次産業の応援や地域ブランド、地場産品の開発等の地域おこしの支援、住民生活支援などの地域協力活動をしながら、委嘱された隊員が地域へ定住定着することを目的とした国の制度です。地域外から新たな視点で入ることは、地域にとって活性化が図られる期待はあるが当町では、現在事業の実施には至っていない。

町では、駅前開発を効果的に実施し、未来につなぐまちづくりを進めるため、全国から人材を募集し厳正なる選考試験を行い「まちづくりコーディネーター」を迎い入れた。

ご質問の「地域おこし協力隊」を受け入れることについては、「まちづくりコーディネーター」を迎い入れたばかりで、今後前向きに検討していきたいと考えております。

答　町長　公募３名の中で、長野県の61歳の方に玉東町の将来を架けてみようと。自分で絵画をされ東京で個展も開かれている方で、我々が考えつかないような発想を持っておられ、他にも使い道のある方。

駅前開発事業の構想はある程度できているが、資金の裏付けができたところで公に出していきたい。

狩野勝次議員

地域防災対策の取り組みは？

問 **今回の議員研修地、宮城県黒川郡大郷町役場での自主防災組織が、どんなに重要で必要性ある組織と説明受けましたが、組織の取り組みには大変興味深いものがあり、我が玉東町でも一部地域が自主防災訓練を行っているそうですが、集まりも少なく今、一つの関心と連帯が重要視されると思います。**

住民主体の自主防災組織力向上には、行政の後押しが必要不可欠また、行政と地域防災組織の年一回、連帯的な訓練も必要では？

答 **総務課長** 自然災害は、どの様な規模で発生するか予測することは出来ません。当町では、熊本地震による人的被害は、けが人の一名のみだったことは不幸中の幸いであったと感じている。災害が大きくなれば被災者数は膨大となり防災機関自体が被災し、機能不全に陥ることも考えられる。

平成15年度、すべての行政区で立ち上げられた自主防災組織は、一部地区を除き年々活動が低迷し、地域による温度差も感じられる。

今回の地震を経験しほとんどの町民が防災意識も高まっていることと思います。

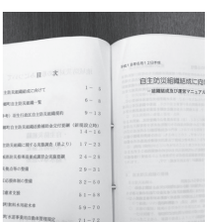
自主防災組織の重要性や必要性について、周知徹底を図り、町も活性化に努めていきたい。リーダー研修会及び訓練を実施し、そこで受講していただいた方たちが地域の核となり学んだ知識を、地区訓練、地域活動に生かしてもらおうと考えている。

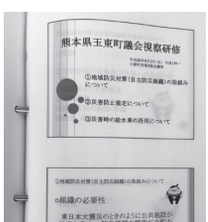
問 **大郷町では、ちゃんとした防災マニュアル書を作成して在る。玉東町では？**

答 **総務課長** 当然、防災マニュアルを作っている。各地区に電話調査で、防災会議を開き議事録も残す地区や、簡易マニュアルを作っている地区に総会等と合わせ防災関連会議をした8地区。

問 **町内、保育園・小・中学校でも昼間の災害を想定した行政との防災訓練等、必要かと思います。**

答 **教育長** 小・中学校は年4回程度、防災訓練実施。この訓練で行政とのかかわりは防災無線の活用だと、保護者へ周知を図る為の町防災無線を使用。子どもたちが参加しての防災訓練は、学びの場としては効果的ではと。今後、町担当当局と調整を図り防災訓練への参加を検討したいと。





一般質問 （本人の原稿を基本にしています。）

清田高広議員

今後どのような、自主性・主体性を持った地域づくり、人材育成に取り組んでいくのか

町が、何でも引き受け対応し解決してきた。ありがたいことだが、そのために地域の活性化と自主性、人材が育たない弊害にもなった。

問 **ひとつの方法として地域に一定の予算をつけ、計画から実行まで地域に任せる。そうすることで地域が責任を強く持ち、自治意識と自主性・特性を生かした地域づくりと人材育成ができる。**

答 **町長** 玉東町で考えた場合、人材が育ってない今の状況は、予算を組む状況ではないと思っている。

各地区、区長さんがいます。その中でいろんなリーダーを作った場合区長さんとうまくやれるかどうか、大きなポイントになる。

地域のみんなに理解できるのか、予算配分したとき使い勝手がいい、なんにでも使える形で配分できればいいが、区長さんを中心にリーダー育成が出来ればやりたいと考える。

問 **防災計画の見直しもされているが、検証も含めどのような予定で計画しているのか。**

熊本地震は終わっているわけではないので、検証は難しいが、想定できなかった面、今までの計画では合致しなかった面が見えてきたと思うが、答弁を求める。

答 **総務課長** 熊本地震は最大震度7の揺れが2回発生し余震も2000回を超え全国的にも例を見ない規模の地震で、想定をはるかに越えるものとなった。

地震の影響は今なお色濃く、その緊急対応や復旧などで、県地域防災計画の策定は大幅に遅れており、全国的に修正するとされている。

今後は、県の地域防災計画が出来上がり次第、震災対策を中心に、計画を見直す。

問 **白木・上白木・原倉には熊野岳・尾田・白浜と活断層があるが、防災計画の中に断層に関しても入れてほしい。**

答 **総務課長** 災害対策本部・避難所の運営、要配慮者への対応、物資等々も含めて順次見直しを図ると同時に住民の方々にも周知していく。

坂村勇治議員

特殊出生率について

問 **玉東町の人口ビジョンにて、2060年で3198名まで減少してくると社人研の推計です。出生率を2.1まで上げる対策を講じても、3922名と展望されていますが講じるための施策は。**

答 **総務課長** 本町の特殊出生率は平均1・59で増加傾向にあり、これまで行ってきた事業の成果と考えられます。今後も、きめ細やかなサービスや支援に取り組み、若い世代の移住を促進していき、2050年の特殊出生率2.1の実現を目指していきたいと考えています。

又、人口減少・少子化問題につきましては、日本全体が直面する喫緊の課題で、社会全体で結婚を応援する体制を図っていくことが重要であり、荒尾玉名地域結婚サポートセンターでお手伝いしているところです。更なる広報につとめてまいります。

問 **島根県の邑南町では、子育て支援が充実しています。保育園の第1子に4割補助、第2子以降がすべて無料化されていて、出生率が2・67から低いときで2・07で推移しています。そこまでの子育て支援は。**

答 **町長** 保育料も一つの案だと思います。6月の議会で、第3子については無償化を決めております。議員がおっしゃるように島根県の邑南町、又、岡山県の奈義町が10年間で倍の2・81になったとのこと、何がこの町に不足するのか、検証する必要があると思っています。しかしそれだけでは追いつかないと思います。一つは教育だと、人が生まれてから次の世代につなぐということをですね、しっかり教える必要があると、教育と福祉が原点じゃないかと思っています。その願いを込めて政策的にやっていきます。

県道の拡張について

問 **木葉部田見線で拡張工事が完成間近です。今後残りの路線の拡張についての見通しは。**

答 **建設課長** 見通しですが、部田見木葉線については、JR山北踏切、この軌道内の歩道整備が早急な課題です。通学路でもあり安全を確保する改善が急がれます。又、玉名植木線では、約2.5kmが未整備で、先日道路管理者との平成29年度単県事業の要望ヒアリングが実施され、未整備区間の早期着手と完成に向け要望したところです。

拡張が望まれる立岩

一般質問　（本人の原稿を基本にしています。）

坂本和也議員

前田町政4期目の総括と今後について

答 **町長** 4期目の信任を受けて以来、住んでいる人が誇りを持ち、後世にいい形で繋げる町づくりを進めなければならないという思いを強く持ち、町政運営に当たってきました。

(1)定住促進・オレンジタウン118区画の完売

(2)子育て支援、高校生までの医療費無料化、第3子以降の保育料無料化、小中学校へのエアコン設置・拡充、共同調理場の整備

(3)情報の入手と活用を容易にするための光ブロードバンドの整備

(4)高齢者福祉の充実、地区サロンの定着、ふれあいの丘無料バスの乗り降り場所の自由化

(5)インフラ整備、木葉四ッ角、稲佐交差点改良、県道部田見・木葉線改良など

(6)駅前開発事業

(7)農業支援、TPP対策事業の着実な実施他

この流れを大きくし、未来に繋ぐため、来年1月の町長選挙に立候補させていただきたいと思っております。

若者の政治意識について

問 **7月に実施された参議院選挙より、選挙権が18歳に下げられましたが、本町の若者の投票率と政治に関心を持ってもらうための対策などを伺う。**

答 **選挙管理委員長** 全国的にみて若者の政治への無関心・選挙離れが深刻な社会問題となっています。本町では7月10日の参院選挙が18歳選挙のスタートでした。本町の若者、新有権者の行動も全国的な傾向が如実に示された選挙であったと思います。

平成28年度
参議院選挙投票率（%）

	全国	県	玉東町
全体	54.70	51.46	56.20
18歳	－	45.19	54.00
19歳	－	33.87	31.71
10代	－	39.70	43.96
20歳	－	－	39.02

10代投票率の県内トップは和水町の53・30%でした。何か参考になればと和水町の担当者に伺ったところ、選挙管理委員としては特別な施策は行っていないとのことでした。

政治に関心を持ってもらうための対策については、選挙公示の1週間前に投票の重要性等を掲載した選挙啓発用冊子を18・19歳全員に郵送して、啓発に努めました。また期日前・当日投票では、積極的に若者に投票の立ち会い人をお願いし実行してきました。

新聞報道によると、新聞読者の投票率が86%と驚異的な数字が示されていました。これについても何か参考になるものはないかと思っているところです。

平成28年度議会議員所管事務調査研修報告

去る8月3日(水)～5日(金)の2泊3日で、各常任委員会所属の全議員10名と町長及び議会事務局長で所管事務調査研修を実施した。

調査研修の目的

熊本地震をきっかけに、過去に震災により被災地となった場所を訪問し、地域防災対策(自主防災組織)の取り組み状況や、併せて子育て支援、空き家対策及び定住促進対策についての視察研修を行うことにより今後の町行政の発展に寄与するものである。

調査研修地

宮城県黒川郡大郷町、同県加美郡色麻町他

大郷町での研修

【大郷町の概要】
人　口：8，518人
世帯数：2，744世帯
面　積：82・02㎢

ここでは自主防災組織の取組みを研修した。その組織の必要性として、災害はいつ発生するかわかりません。災害が大きければ大きいほど、被災者数も多くなる。過去に起こった阪神・淡路大震災を例にとると日本火災学会の調査では、生き埋めや建物に閉じ込められた人のうち、救助された95％は自力または家族や隣人によって救助されており、専門の救助隊に救出されたのはわずか1.7％にとどまっている。このようなことから防災力向上のために相互扶助システムとして「自分たちの地域は自分たちで守ろう」という自覚、連帯感に基づき組織が結成された。その中で得られた教訓として、①**「日頃の地域コミュニティ(人間関係)が、被災後の助けの絆となる」**、②**「大きな災害が発生した場合、誰かが必ず助けに来るとは限らない」**、③**「役場や消防、行政職員も被災者となる」**などである。現在22地区の行政区ごとに組織の規約、防災計画を整備されており、資機材や啓発費用として、1組織あたり30万円を限度とする活動補助金が交付されている。また、大規模な災害発生時には町だけでの対応は困難な面があるので近隣町村をはじめ県外(北海道清水町・山形県舟形町・東京都青梅市)の市町とも相互応援協定書を結び支援体制の強化を図っておられた。

色麻町での研修

【色麻町の概要】
人　口：7，226人
世帯数：2，113世帯
面　積：109・23㎢

ここでは子育て支援・空き家対策及び定住促進についての研修を行った。まず子育て支援事業においては、玉東町が取り組んでいる事業と類似する事業も多いが、主なものとして、①**保育所交流事業**では子どもの健全な発達・発育を目的に、保育所を会場に在宅の親子と入所児の交流の場を設けている。②**出産祝い金事業**として、第2子は5万円、第3子以降は10万円を支給されている。③**「子ども・子育て支援新制度」**がスタートしたことに伴い、子どもの成長に伴い親の関わりが重要なことから社会教育課とタイアップし未就学児の保護者を対象とした「子育て講演会」を実施されている。④**不妊治療助成事業**では43歳未満を対象として不妊治療に要した費用から県の助成額を控除した額に、年度あたり20万円を限度として助成金が交付される。

次に空き家対策では「自然豊かな土地に住みたい」、「ふるさとで暮らしたい」というUターン希望者が増えており、空き家の所有者から「貸したい・売りたい」というニーズが高まっているそうである。

そこで、町は「空き家バンク事業」としてホームページに登録し、広く情報提供されている。また、空き家所有者に対して住宅等に関する状況の確認や将来の利活用に関するアンケート調査も実施されており、結果、管理については所有者が概ね適正に管理されていた。

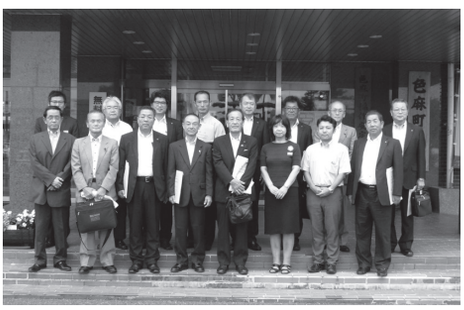
定住促進においては地域活性化住宅事業のひとつとして「あたごふれあい・愛タウン」(宅地分譲事業)に取組み、住宅取得等補助金交付要綱を定め住宅の新築、購入及び既存住宅のリフォームを行う者に予算の範囲内で補助金が交付されている。

玉東町としても高齢化に伴い、増加する空き家等について所有者の意思表示を確認するためのアンケート調査を実施するのもいい考えだと思う。

一方、視察においては岩手県平泉にある国宝の「中尊寺金色堂」を現地のガイドによる説明案内付で見学し、本堂にて住職より中尊寺の概要などの説明を受け、東日本大震災復興と併せ、今回の「熊本地震」からの復興祈願もされていた。また、石巻では大津波襲来において避難場所に指定されている「日和山公園(ひよりやまこうえん)」頂上より東日本大震災からの復興の状況を見ることができた。

今回の研修は、「大震災」という全く予期しない事態が起こり、その対応や日頃の防災への取り組みが非常に大切なことを学んだ。

我々議員としても想定外のことも常に念頭に置き、町民が安全で、安心な生活ができるよう子育て支援の面も含めて考慮していかなければならない。そうすることにより町民との連帯感・信頼感も深まり、これからの町の発展に繋がっていくものだと思ったところである。



玉名郡議会議員球技大会

8月26日（金）南関町セキアヒルズのグラウンドゴルフ場で開催された。
玉東町は総合で準優勝でした。

次回の議会開催は12月中旬です。ぜひ傍聴にきてください。

議会、広報紙に対するご意見ご要望、請願・陳情等、また、議会広報紙への写真・記事等もお寄せください、お待ちしています。

議会の動き

8月 1日 町村議会正副議長研修会
3～5日 議会議員所管事務調査研修
8日 ふれあいの丘交流まつり実行委員会
11日 ふれあい夏まつり
20日 第23回文化の集い
26日 玉名郡議会議員親善球技大会
31日 議会運営委員会

9月11日 玉東町敬老会
12～16日 9月議会定例会
17日 山北保育園運動会
27日 和水町・玉東町学童陸上記録会

10月 2日 町民体育祭
7日 議会広報委員会
13日 県・町村議会議員研修会
14日 議会広報委員会
21日 玉東町教育の日

編集後記

9月は、初秋でもありますが、今年は大変な猛暑日が続きました。実りの秋を目の前に控え、忙しくもあり、また、慌ただしい時期へと。

そんな中、玉東町9月議会も傍聴者、多数の中に開催されました。H27年度玉東町会計決算も原案を認定。H28年度補正予算と条例も原案可決。

また、人事案件についても同意。

9月12日～16日迄の会期も無事に、閉会する事が出来た。

（狩野）

編集
議会広報特別委員会
委員長　狩野　勝次
副委員長　田添　善史
委員　清田　高広
委員　坂村　勇治
委員　大城戸廣澄
玉東町議会事務局
TEL 85－3189

※この広報紙は地域環境にやさしい植物油型インキを使用しています。
古紙配合率100%再生紙を使用しています